

## 無料塾で認知症キッズサポーター養成講座をおこないました



毎週木曜日の夕方、学校が終わった子どもたちが、次々と無料塾に集まってきます。会場は汐田総合病院隣の友の会会館。小学校1年生から中学生・高校生まで、毎週20人ほどの子どもが先生と一緒に楽しそうに勉強をしていきます。教えるのは仕事帰りの病院職員や、地域のボランティアさんなど。

今回は4月11日に「認知症キッズサポーター養成講座」を行いました。チラシの段階で「認知症」と言っても小学校低学年の子たちにはわかりませんので、「おじいちゃんおばあちゃんに優しくなれるお話し」と題して子どもたちに来るように呼びかけました。無料塾では初めての教室型学習。普段は1対2の個別学習なので内容も含め子どもたちへのチャレンジもありました。この日は15人の子どもたちが集まり「認知症ってなあに」とざわざわする中、低学年でもわかるような用語、言葉使いで進めました。間に紙芝居も入れ、参加している子どもたちも出演。最後に「思いやりの心」「心づかい」のお話しをしました。低学年の子たちの理解度はイマイチでしたが、高学年から中学生たちにはお話しの中身が伝わったと思います。配ったオレンジリングは大喜びで着けていました。



## 次回健サポ教室は骨粗しょう症対策

次回の

うしおだグループと市民の健康サポート教室は

テーマ: 「知っててよかった骨粗しょう症対策」

講師: 汐田総合病院 整形外科 佐々木正造 医師

日時: 2019年6月24日(月) 15:00~

場所: ココファン鶴見(旧鶴見会館前)

先着100名様

リハビリスタッフによる体操教室も予定しています。



メモリーカフェ



認知症にまつわる悩み、専門スタッフに相談できます

・汐田総合病院 会場: ラウンジぴゅあ(病院2階)

5月9日(木) 6月13日(木) 14:00-16:00

・うしおだ診療所 会場: 友の会汐田・向井町支部事務所

5月9日(木) 6月13日(木) 13:30-15:30



妻のトリセツ

黒川伊保子著/講談社



皆さんのプライベートな人間関係

(夫婦、恋人、嫁姑など)は良好ですか?良好と考えたあなた!それは独りよがりでは?本書は、脳科学の立場から女性脳の仕組みを前提に女性の怒りの理由を解説し、男性側からの対策をまとめた指南書である。男女の違いを良く理解でき互いに歩み寄ることができる、まさに家庭の紛争解決から世界平和につながる本かもしれない。



今年のGWはいかがでしたか?

世の中大騒ぎの大型連休いかがでしたか?私は後半に中型連休を頂けたので、東北地方にある山小屋を借りて大自然を満喫。アレルギー性鼻炎の子供達は自然に居る間はティッシュを使用することなく過ごし、横浜に戻った途端に症状が出て内服を開始した。便利な生活と引換えに薬を飲む生活・・・考えさせられると共に、自然てすごい!と改めて感じた連休でした。K.H



うしおだ総合ケアセンター

We aim to build a non-discriminatory Integrated Community Care System that supports all